

大学生企画の街おこしプロジェクトを通して学んだこと

チーム☆カミフル+

(代表：國松 沙織)

1. チーム☆カミフル+とは

PBLの授業の中で発足したプロジェクトチームで、活動の目的は中心街(おもに古町)の魅力が大学生(主に新大五十嵐キャンパスの)に伝えること。

古町は新潟における最も伝統的な商店街であり、珍しいタイプのお店や歴史を感じさせる町並みがある。しかし、近年その魅力を知る人が減少している。

私たちの祖父母の世代から親の世代には、古町および中心街の魅力がしっかりと受け継がれているが、親の世代から私たちの世代には、それがかなり希薄となっている。今一度、その魅力を掘り起こして私たちの世代に広め、さらには次の世代にも受け継いでいきたいと考えた。

2. 活動内容について

古町で実際に街歩きをして、街の雰囲気や様々なお店、カミフルの改装されたアーケードの様子などを自分たちの目で確認した。さらに、上古町1番町～4番町商店街の32店舗に対してアンケートを実施し、各店

舗の歴史、特徴、および古町に対する思い入れなどを調査した。

その結果、私たちにできること、学生だからこそできることは何かと考え、五十嵐キャンパスの学生に古町の魅力を知ってもらうために、フリーペーパーを作成し配布することを思いついた。

フリーペーパーだけにとどまらず、ブログなどを使い、継続的に古町および中心商店街の情報を発信することが、私たちがすぐにできる有効的な活動と考えた。

3. プロジェクトを通して学んだこと

街歩きなどのフィールドワークの体験を通して、直接現地に赴く事の必要性を認識した。

「自分たちが何者か」を明確にすることや、アポイントのとり方など、社会人と接する時のマナーを学んだ。

グループ内の情報共有の重要性および、大学生という立場の長所(自由な発想と行動力)と短所(実行力を試す場が極めて少ない)を再確認できた。